

TU No.13

発行月 2018年7月 発行 帝京大学宇都宮キャンパス 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL. 028-627-7111 (代) FAX. 028-627-7184 E-mail. somu@riko.teikyo-u.ac.jp
 URL <http://teikyo.jp/utsunomiya/> ご注意・ご要望をお待ちしております。郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。 © 帝京大学 2018 禁・無断転載

帝京大学 宇都宮キャンパス

帝京大学 建学の精神 努力をすべての基とし偏見を排し 幅広い知識を身につけ 国際的視野に立って判断ができ 実学を通して創造力および人間味豊かな 専門性ある人材の養成を目的とする

教育理念 「自分流」とは、生き方の哲学そのもので、自分のなすべきこと、興味あることを見つけだし、自分の生まれ持った個性を最大限生かすべく知識や技術を習得し、それを自分の力として行動する。そしてその結果については自分自身が責任をもつことである。本学はこの自分流の生き方を学生に身につけてもらうべく、サポートしている。

TU Teikyo university
 Utsunomiya Campus
No.13
 帝京大学宇都宮キャンパス

卒業生だからわかること
特集
OB・OG
 from TEIKYO UTSUNOMIYA Campus

なぜこの大学を選んだのですか?
 将来の夢はありましたか?
 思い出に残っていることはありますか?
 今のご職業は、おもしろいですか?
 どんな学生時代でしたか?
 どんな仕事をしていますか?
 大学で学んだこと、役に立っていますか?

卒業生のみなさん、

学生時代はどう過ごしていましたか？

今、どんな感じですか？

1989年に帝京大学宇都宮キャンパスが誕生して、30年。その間、1万4千人以上の卒業生を輩出してきました。

卒業生たちは現在、日本中・世界中の様々な場所で様々な仕事に就き、それぞれの人生を送っています。

今回のTUでは、そんなOB・OGたちが今どのように働き、どのように過ごしているのか、ご紹介します。



03 OB・OG Interview

- 03 理工学部 機械・精密システム工学科卒 太田 尚利さん
- 05 理工学部 航空宇宙工学科卒 丹羽 史彰さん
- 07 理工学部 情報科学科(現:情報電子工学科)卒 横尾 理恵子さん
- 09 理工学部 バイオサイエンス学科卒 野村 崇人さん
- 11 経済学部 地域経済学科卒 岡崎 幹大さん
- 13 医療技術学部 柔道整復学科卒 青木 未来さん

15 宇都宮キャンパス内にもOB・OG が!?

17 数字で見よう! 宇都宮キャンパス

19 まだまだいます! OB・OG

21 学園祭でもOB・OG 発見!

帝京大学 宇都宮キャンパスって？

帝京大学には、板橋・八王子・宇都宮・福岡・霞ヶ関の5つのキャンパスがあります。宇都宮キャンパスは、理工学部の全学科、経済学部/地域経済学科、医療技術学部/柔道整復学科を有する、東京ドーム6個分の緑豊かな広い敷地に各学科が機能的にレイアウトされた美しいキャンパスです。

経済学部

- ・地域経済学科

理工学部

- ・機械・精密システム工学科 ・航空宇宙工学科 ・情報電子工学科
- ・バイオサイエンス学科 ・情報科学科(通信教育課程)

医療技術学部

- ・柔道整復学科

大学院

- ・経済学研究科 地域経済政策学専攻
- ・理工学研究科 総合理工学専攻
情報科学専攻(通信教育課程)
- ・医療技術学研究科 柔道整復学専攻





OB&OG Interview

理工学部 機械・精密システム工学科 1993年卒業生

太田 尚利 さん

カルソニックカンセイ株式会社
CPM・内装事業本部 CPM・内装技術開発部 主管

エンジニアとして活躍中!

カルソニックカンセイ株式会社 って、どんな会社?

設計・開発から製造・販売までを行う、世界有数の自動車部品メーカー。国内外の多くの自動車メーカーの、様々なニーズに対応するグローバル企業で、世界15カ国に拠点を展開しています。



「モノづくり」は
おもろいー。
エンジニアでも
この気持ちは
変わらない



同じく機械・精密システム工学科1期生で、現在同学科講師の牧田匡史先生も取材に同席してくれました。

大学の設備をフル活用!
夢中で車をいじっていました

小さい頃から機械やエンジン、バイクに興味がありました。乗るのも好きだし、いじるのも好き。ちょうど1期生として入学できるということにも魅力を感じ、この学科を選びました。

帝京大の機械・精密システム工学科は金属を加工できる設備が整っていて、当時は授業外でも実習工場をフル活用。大好きな車に思う存分触られました。先生は自動車メーカー出身の方も多くて寛大でした。「自動車部」というサークルを立ち上げ、同級生と一緒にHONDAとTOYOTAのエンジンを分解して比較してみたり、パーツを一つ一つ手に入れ

て、車に組み込んでみたり。大きなプラモデルのような感覚で、仲間とワイワイいじっているうちに、車の構造を自然と理解できるようになっていました。「やりたいことは学生時代にやりきった!」という充実感があります。

アメリカも日本もゴールは同じ
グローバルなモノづくりを体感

「モノづくり」の精神については、社会人になってから学ぶことが多かったです。MAZDA系の部品メーカーを経て、2001年にカルソニックカンセイに転職。設計担当時代は、図面を描いて工場に持って行き、「造りづらい形状だ」「こうしたほうがいい」など、生産技術の管理職にダメ出しされては描き直しての繰り返し。大変でしたが、アイデアが形になっていく楽しさやマニュアルにはない知識がどんどんついてくる感覚があり、とても充実していました。

2008年からは5年間、アメリカのMichiganに赴任し、アメリカ&メキシコ現地生産プロジェクトの開発業務を経験しましたが、日本にはない苦労も味わいました。主な業務は、日本開発プロジェクトの円滑な現地生産ハンドオーバーや、アメリカ現地開発プロジェクトのマネージメント・技術指導。文化も違う、技術者も入れ替わりが激しく熟練者が少ない状態は試練でした。モノづくりの進め方においても、ゴールは同じでも、欧米文化ではアプローチの仕方が日本のやり方と異なり、開発プロセスとの整合取りに苦労しました。英語が苦手だったので、初めはコミュニケーションがうまくいきませんが、半年程度で英語にも慣れ、マネージメントとして指示するだけでなく、実際にやって見せて課題解決の方向性を示したり、経験させることにより現地スタッ

フとの意思疎通を良い状態に持っていくことができるように。「国や言語が違ってもゴールは同じ、モノづくりの精神は変わらないんだな」と体で感じることができました。

モノづくりのおもしろさは
開発や設計だけじゃない

2013年春に帰任し、アメリカと関わりが深いプラットフォームのプロジェクトを担当。また、CPE(チーフプロダクトエンジニア)として組織の枠を超え、CQD(収益・品質・日程)全体を見るようになりました。立場は変わりましたが、「モノづくりはおもしろい」という気持ちは変わりません。

メーカーを志す学生の中には、「〇〇の開発や設計がしたい」と分野や職種を絞って考えている方も多いのですが、モノづくりに上流から下流までであるとしたら、おもしろくない分野なんてないと思うんです。例えば研究も生産技術も製造も、今まで自分がやったことがないだけで、「興味がない」と考えるのはもったいない。全部モノづくりにつながっているのだから、やってみれば絶対おもしろいはず。モノづくりの世界で活躍できる人は、「外から見ただけではわからないおもしろさ」にも興味を持ってやっていける人だと、私は思います。



大学生時代、宇都宮キャンパスで自動車部の仲間たちと。

Photo Album



アメリカ赴任時代は、家族とアメリカ中を旅行しました。写真は、2010年夏、アリゾナにて。



帰任後、久しぶりのアメリカ出張の際に、当時の同僚と。赴任当時に振り返った雑談を通し、様々な記憶がよみがえりました。



アメリカ赴任前に通勤で使用していたロードスターを、帰任後、暇をみてレストア中! 気長に楽しんでいます。

OB&OG Interview

理工学部 航空宇宙工学科 2010年卒業生
理工学研究科 総合理工学専攻 2012年修了

丹羽 史彰 さん

株式会社SUBARU 航空宇宙カンパニー

✦ エンジニアとして活躍中!

株式会社SUBARU って、どんな会社?

1958年以来、独創的なクルマを生み出してきた「自動車部門」と、1917年から受け継がれる「中島飛行機」を前身とする「航空宇宙カンパニー」の、2つの事業を展開。「航空宇宙カンパニー」は、日本の航空宇宙産業をリードし、旅客機の開発・製造も受注しています。

鳥人間コンテストと小型衛星 「ものづくり」に打ち込みました

帝京大学を選んだのは、「航空宇宙工学科」と「鳥人間コンテスト」のサークルがあったから。小さい頃から宇宙や飛行機に興味があり、漠然と憧れていました。入学してみると、やりたいことに全力で打ち込むには、宇都宮キャンパスはとても良い環境でした。好きだったことを学問として学べるのが純粋に楽しくて、いろいろな挑戦をしたくなりました。

まずは、憧れの人力飛行機製作サークル

「SkyProject」。私はプロペラ設計班でした。「鳥人間コンテスト」本選出場を目指して、みんなで1年かけてトライ&エラーを繰り返しながら完成させていきました。徹夜で飛行試験をしたり、プロペラを付け直したりしたこともありでしたね。初めて「ものづくりをしている」という実感ができて、楽しかった。念願の鳥人間コンテスト本選にも出場できました。

もう一つのめりこんだのは、栃木県産人工衛星を作る「Teikyo-Sat」プロジェクトです。初代メンバーとして立ち上げから携わりました。「宇宙に粘菌（微生物の一種）を飛ばそう」とい



うアイデアが評価され、3号機が第18回衛星設計コンテストで日本機械学会賞を受賞。JAXA（航空宇宙開発機構）のH2Aロケットに

相乗りして宇宙へ行く小型衛星に選出されました。学生時代で一番うれしかった瞬間だけど、そこから正念場。JAXAの研究者に話を聞きに行ったり、キャンパスにアンテナを立てたり…。卒業研究と並行で忙しかったけど、アイデアが少しずつカタチになり、自分たちの夢が宇宙に近づいていると思うと、ワクワクして仕方がなかった。打ち上げのスケジュールが決まったタイミングで、大学院を修了しました。

挑戦で身についたことは 仕事の基本と同じでした

私は現在、株式会社SUBARUで「Boeing 787」という航空機の構造設計、維持設計、原価低減設計をしています。入社2年目のとき希望が叶って、クライアントであるアメリカのボーイング社へ駐在しました。約2年、787-10の開発設計を担当。開発の最前線で、「飛行機を造る」ことを身を持って学ぶことができました。

今思えば、「SkyProject」でも、「Teikyo-Sat」でも、自分たちで考えて実行、ダメなら次どうすればいいかを考えてまた実行するという仕事の進め方＝PDCA（Plan・Do・Check・Action）を無意識に回していました。それと、専門家に話を聞きに行くなど、外部の人とやりとりした経験などから、仕事は一人ではできないことを実感しました。仕事の基本が自然と身についたのは、学生時代にしかできないことに全力で打ち込んだからだだと思います。あ那时的挑戦は、夢につながっていたんですね。

今の夢は、リーダーとして再びボーイング社に駐在し、飛行機を開発をすること。今の自

分なら、ボーイング社のメンバーもSUBARUのメンバーも引っ張っていけるんじゃないかと思っています!



自分たちの衛星が宇宙へ!
学生時代の挑戦は夢への滑走路



航空宇宙工学科教授の平本先生と。SUBARUでエンジニアとして勤務していた大先輩でもあります。

Photo Album



人力飛行機製作サークル「SkyProject」。仲間と飛行試験を繰り返していました。



「Teikyo-Sat」の衛星設計コンテスト授賞式にて。ここから、打ち上げ準備に奔走しました!



アメリカ・ボーイング社駐在時代。今でも現地と週に1回、電話会議をしています。

富士ゼロックス情報システム株式会社 って、どんな会社?

ソフトウェア開発や情報処理システム構築を通じ、富士ゼロックスおよび関連会社のビジネス基盤となるICTインフラを支えるシェアードサービスカンパニー。国内外70社以上で最大66,000名のユーザー数を誇る大規模なICTインフラの企画、構築、稼働維持をトータルで提供しています。

OB&OG Interview

理工学部 情報科学科 (現:情報電子工学科) 1997年卒業生

横尾 理恵子 さん

富士ゼロックス情報システム株式会社

エンジニアとして活躍中!

リカちゃんよりコンピュータが好きな女の子でした

父の影響で、子どもの頃からコンピュータが好きでした。まだパソコンが家庭に普及する前でしたが、幼稚園のときには父と秋葉原に行ってパーツを仕入れ、自分ではんだ付けしてちょっとした回路を作っていました。小学校の入学祝いは、電流や波形を計るオシロスコープ。リカちゃんも持っていたけど、リカちゃんハウスの構造が気になって分解したりしていたので、周りから心配されていました(笑)。中学・高校時代はコンピュータからいったん興味が離れてコース部に。でも高2で進路を考えたときに、「やっぱりコンピュータが好き」という熱がよみがえって、迷わず情報系の学科に進みました。帝京大学を選んだのは、実家から通えるという理由が大きかったですね。



情報電子工学科教授の渡辺先生と卒業アルバムを見ながら、渡辺先生からプログラミングを教わっていたそうです。

パソコン黎明期で苦労しながら専門知識を身につけました

帝京大学には最新のコンピュータなど、勉強したいことができる設備が整っていたし、先生たちの指導が丁寧でした。一つ質問すると、

膨大な情報量で答えてくれるんです。ついていけないくらい(笑)。おかげで、質問するときは何がわからないかを論理的に整理してから、という思考方法が身につきました。当時のテキストは今でも開くことがありますが、今になっておもしろさに気づくこともありますよ。

まだ「Windows 95」が出たばかりの時代。卒業研究でネットワークのセキュリティをテーマに選んでしまい、とても苦労しました(笑)。まだネットワークがあまり普及していない時代、肝心のセキュリティに関する情報は文献が日本語訳されていないんです。しかも情報の移り変わりが速く、少し前の文献がもう参考にならない。今のようにインターネット検索もできない。辞書を片手に英語の文献漁りに苦戦しましたが、このとき身につけた専門知識が今の仕事につながりました。

学生時代の知識と入社後の経験がやりがいのある仕事につながりました

入社当時は、システム特有の言語や仕様など覚えることも多く、毎日遅くまでプログラムをひたすら作り、がむしゃらに働く日々。念願のネットワークの部署に配属されたのは、一昨年のごとでした。昔の上司が、学生時代に身につけた私の専門知識を買って呼んでくれたんです。

今の仕事は、社内の「働き方改革」のために業務効率を改善するツールを提案すること。例えば、日本全国にあるゼロックスの支社やグループ会社と打ち合わせするときに、「このアプリを使って電話会議をすれば、全国どこからでも同じ画面を見ながら同時編集ができ、

交通費も時間も大幅にカットできます」という専用アプリ開発の提案を行ったりしています。課題が解決され、直接「やりやすくなったよ」という声をもらえると、「ああ、よかった!」とやりがいを感じます。

ちなみに、私は終業後も「働き方改革」中。仕事から帰って2人の子どもの寝かせるまで、マルチタスクでフル回転なんですよ(笑)。子どもたちの寝顔を見る時間は何よりの至福です。



「好き」+「苦労」= 今の仕事
育児も仕事も
「働き方改革」促進中!

Photo Album



大学時代のテニスサークルの仲間とは、今も仲良し。塾講師のアルバイトもがんばっていました。



現在、会社で認められている残業時間は1日1時間まで。限られた時間の中で成果を上げることが求められています。



子どもは9歳と4歳。帰宅～子どもの寝かしつけまでは一度も椅子に座らず、分刻みで動きっぱなしです。

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センターって、どんなところ？

高度なバイオサイエンスの教育・研究を推進する目的で、遺伝子実験施設、RI実験室、農学部動物実験室、環境調節実験棟を2008年に統合し、設立。野村さんは、植物の生長のしくみを「化学物質」の視点から理解するため、「植物ホルモン」などを解析する研究をしています。

OB&OG Interview

理工学部 バイオサイエンス学科 1995年卒業生

野村 崇人 さん

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター

 **大学教員として活躍中!**

親友といたくて選んだ研究室がターニングポイントでした

子どもの頃からザリガニを採ったり生きものが好き。小学校の理科の先生に化石が道に落ちていたことを教えてもらってからは、化石を拾って歩いていました。「3億年前の生き物に触れることができるなんてスゴイ!」と思って。生命科学全般に興味があったので、微生物、植物、動物と、生物を幅広く学ぶことができる「バイオサイエンス学科」へ入学しました。

ところが、入学してから力を入れたのは、勉

強ではないんですね(笑)。スキーとアルバイトに明け暮れていました。講義後、車を1時間半飛ばしてナイターを2時間すべり、その後はコンビニでアルバイトする生活。コンビニの仕事は、将来コンビニの経営者になろうかと思うくらい、おもしろかったですね。

学校へは友だちに会うために行っていたようなもので、4年生で入った研究室も親友が希望したからという理由で選びました。でも、この研究室での横田先生との出会いがターニングポイントでした。与えられた研究テーマに夢中になってしまったんです。

研究の喜びに魅せられついに植物ホルモンを発見!

研究のミッションは、「植物が何のためにステロイドホルモンを作っているかを証明せよ」。当時は、ステロイドホルモンが動物と同様に植物にも存在するけれど、植物の生長に必要な物質であることが解明されていませんでした。4年生からは、その研究が趣味に。植物ステロイドホルモンを抽出し、精製、分析という実験の毎日でした。抽出できるホルモンはナノグラムレベルなのでテクニックが必要なのですが、

その世界でも稀な技術を横田先生から伝授されるとともに、「新しいことに挑戦する」という研究の心構えも教えられました。これは今でも私の信条になっています。ミッションの道のりは長かったですが、大学院の博士課程まで進み、ついに証明につながる重要な発見ができました。



温室も、先生の研究に必要な場所です。



偶然の出会いと一つひとつの選択が、
将来の道を切り拓く

目の前からベストを選び続けて今の道にたどりつきました

今、私はアフリカの飢餓の元凶にもなっている「寄生植物」の撲滅を目的とした研究をしています。作物に寄生して栄養を奪う寄生植物を撲滅できれば、何億人もの命を救うことができます。寄生植物は世界中に広がっているので、この先やってくるとされる世界の食糧難の対策に重要であり、もし外国から日本に流入してきたら日本での蔓延を防げます。

私がこの道にたどりついたのは、目の前の選択肢からそのときベストと考えたものを選んでいただけなんです。よく、「大学や研究室選びで自分の人生が決まる」と悩む学生がいますが、私が研究室を選んだ理由は「親友」だったし、4年生のときはちょうど就職難の時期であったことと、研究がおもしろくなったことから大学院に進みました。「発見」という幸運にも恵まれましたが、まさかそのまま研究者になるとは(笑)。目の前のことに興味を持って取り組み、その都度自分自身で選択すれば、それが一番の答えになると思いますよ。



Photo Album



学生時代の横田研究室。植物からステロイドホルモンを抽出する難しい作業を任されていました。



現在は寄生植物を制御するホルモンについて研究。飢餓や食糧難対策として、世界的に注目されています。



学生たちと河川敷で寄生植物採取。野菜や穀物を枯れさせる「寄生雑草」を撲滅できれば、世界の何億人をも救えます。



OB&OG Interview

経済学部 地域経済学科 2015年卒業生

岡崎 幹大 さん

東武ステーションサービス株式会社

駅務係として活躍中!

東武ステーションサービス株式会社 って、どんな会社?

東武鉄道各駅の駅業務、駅構内施設の運営管理を担う会社。具体的には、改札業務や、駐車場などの管理、旅行案内業務などを行います。駅の業務を習得した後は、東武鉄道の車掌や運転士へとステップアップの道も。東武鉄道(株)本社勤務の可能性もあります。

フィールドワークで通った町が 大好きになっていました

この大学を選んだのは、「地域経済学科」が新設されたタイミングだったからです。1期生なら、自由に勉強させてくれるかなと思って。「地域経済」という学科名も身近な感じがして、興味がわきました。

学生時代に一番熱中したのはゼミ。座って聞く講義と違い、金子ゼミに入ってから勉強が楽しくなりました。



地域活性化を勉強する金子ゼミは、フィールドワークが中心。私たちは栃木県内の那珂川町という地域を何度も訪れました。「この町の良いところは?」と現地の方々にお聞きし、それをヒントに「どうすれば町がより活性化するか」を考えます。知らない町に行き知らない人と話すのは初めてでしたが、町の方々は慣れない自分たちにも親切に話してくれました。実際に、教えてもらった場所へ足を運び、馬に乗ってみたり、おみやげを買ったり。気がついたら、個人的に泊まり込みで友だちと遊びに行くくらい、那珂川町が大好きになっていました。私たちのグループは、スポーツに焦点を当てた企画をまとめ、町の方々に公民館に来ていただいて発表しました。

教授との絆はゼミだけじゃない “祖父のような”先生に出会えて

こんなにゼミを楽しめたのは、金子先生が自由にやらせてくれたからです。金子先生は自ら町に入り込んでフィールドワークを重ねてきた方。講義でも、「地域の観光資源をどうPRしていくか」という様々な事例を見せてくれたので、「こうやって地域経済って活性化していくのか」と興味を持って受講していました。



学生時代のフィールドワークが
私の土台になっている

実は、私は成績があまり良くなくて、金子先生には1年生のときから面倒をみてもらっていました(笑)。4年生のときは、就活の相談までやってくれて。私は、自分の就活がうまくいかなくて不安を感じていて、必死にいろいろな会社や説明会をまわっていました。当然、講義を欠席することが多くなり、大学の成績は落ちて…。

勉強と就活の狭間で悩んでいました。そんなときでも、金子先生は就活をがんばる私を温かく応援してくれ、すごく気持ちが楽になりました。



そんな金子先生は、私にとって“教授”というより“友達”のような、“祖父”のような存在。一緒に巨人戦を観に行ったり、2人だけで呑みに行ったりもありました。

今、私は東武鉄道の駅務係をしています。フィールドワークをやっていたクセなのか、改札に立っていると、その街の特徴をついてしまうんです。ゼミ時代に、初対面の方の話を聞いたり、人前でプレゼンテーションをした経験が、この仕事に生きています。今後、私は東武鉄道株式会社に転籍して車掌になり、将来運転士や本社勤務になることを目指しています。この会社でどんな仕事をして、どう成長していけるのか、自分の将来が楽しみです。



Photo Album



金子先生や仲間たちとの食事、フィールドワークの楽しみの一つ。那珂川町の名物である「温泉とらふぐ」の味は衝撃でした!



「駅務係」は、いわゆる“駅員さん”。改札では、券売機の管理、質問対応、払い戻し対応などにあたります。



東武線が大雪でも動いて通勤・通学できた人を見ると、この仕事に誇りを感じます。



帝京豊郷台接骨院 って、どんなところ？

帝京大学宇都宮キャンパスの敷地内にある、医療技術学部柔道整復学科の附属接骨院。2010年4月開院。大学内に医師やトレーナーもいるので、スポーツ選手は治療とトレーニングのアドバイスを同時に受けることが可能。高齢者には、機能訓練指導員が運動療法を指導できるのも特長です。同学科の学生の実習の場にもなっています。

OB&OG Interview

医療技術学部 柔道整復学科 2013年卒業生
医療技術学研究科 柔道整復学専攻 2016年修了

青木 未来 さん

帝京豊郷台接骨院

柔道整復師として活躍中!

ミネーションや七夕飾り、流しそうめんや球技大会など様々なイベントを開催するサークルです。サークル内で意見がぶつかるなど大変なことも多かったけど、イベントを楽しんでくれる人たちの顔を見るとうれしかった。当時は、朝5時～9時バイト、11時から授業、サークル後に帰宅、という忙しい生活でしたが、とても充実していました。



**臨床・研究・教育
将来の可能性を広げるため
大学院へ**

入学前は、将来についてぼんやりと考えていたのですが、「研究」という世界に出会って変わりました。将来の仕事として、接骨院や整形外科などの臨床の現場だけでなく、研究者という道もあると考えるようになったんです。大学院では、細胞膜上にある、栄養物質を細胞内に取り込むためのタンパク質(トランスポーター)を対象とした研究に取り組みました。現在では、柔道整復師を育てる「専科教員免許」も取得しました。柔道整復師はまだ女性が少ない世界で、その教育現場はさらに男性が多く、これからは女性にチャンスがあると思ったんです。こうして、学部と大学院の6年間で、

臨床、研究、教育と、いろいろなところで働ける可能性を広げました。

**臨床現場もやりがいがある
いずれは教育・研究の道も**

現在は、接骨院で柔道整復師として働いています。帝京大学の附属施設なので、研究を続けながら働ける環境だし、患者さんとも深く関わられることにやりがいを感じています。同じ痛みでも、患者さんのタイプにより治療法が変わります。ケガを診るだけでなく、患者さんの背景や事情もお聞きしながら、寄り添って治療していく。臨床現場はそこがおもしろいです。

実は私はこれから産休・育休に入ります。柔道整復師としての現場も研究も一度離れますが、必ず戻るつもりです。復帰後は、大学で教育と研究もやっていけたらいいですね。行けるところまで挑戦してみたいと思っています。



「柔道整復師」だけじゃない
研究に出会って
道が広がりました

**研究が面白い!
忙しいけど充実していました**

中学でソフトボール、高校で空手をやってきて、将来はスポーツに関連する職業に就きたいと思っていました。そんなとき、担任の先生に「柔道整復師」という職業を勧められました。柔道整復師とは、接骨院の先生やスポーツトレーナーとして、ケガを治したり、健康をサポートする仕事で、国家資格です。専門学校でも勉強できますが、私はじっくり4年間勉強できる「大学」を選びました。

柔道整復学は、治療技術だけではなく、解剖学や生理学といった、ヒトの体について基礎的な知識はもちろん、一般臨床学や病理学、整形外科学、運動学など幅広い分野を学びます。それらを学ぶうちに私は、ヒトの組織を構成する「細胞」に興味を持ち、ヒトの筋細胞に存在するタンパク質(アクチン、ミオシン)を対象とした卒業研究に取り組みました。これがきっかけで、研究の道を意識するようになりました。

また、サークル活動にも力を入れていました。「学友会」といって、学内でクリスマスイル

Photo Album



柔道整復師は、柔道の伝統技術を生かし、手術をしないで、脱臼、骨折、打撲、捻挫の治療をしていく仕事。



力が必要な治療もありますが、女性だから不利だと思ったことはありません。同期の女性も現場で活躍しています。



帝京大学では、附属の接骨院で実際の治療を見ながら技術を学べます。

宇都宮キャンパスの 教職員にも OB・OGが たくさんいます!

宇都宮キャンパスには現在、8名のOB・OGが働いています。
同じ帝京大学の他キャンパス(八王子や板橋など)のOB・OGを合わせると、総勢13名!
教員や職員として活躍している帝京大学OB・OGに集まってもらいました。

- A) 学生時代の思い出
- B) 現在の仕事やキャンパスについて

スノーボードサークルに所属していました!



文学部 社会学科
2013年卒業生

生出 尚也
総務グループ 会計チーム

A) 友人と楽しく過ごした4年間でした。ほとんど毎日一緒にいましたね。サークルの沖縄旅行やスキー合宿では、先輩や後輩たちとも楽しい思い出ができました。 B) 宇都宮出身なので、親しみのある身近な大学です。

キャンパスでは、野ウサギやキジの飼育もしています。



理工学部 バイオサイエンス学科
2012年卒業生

湯本 絵美
先端機器分析センター

A) 毎日の授業、硬式テニスサークル、バイトであったという間の4年間でした。合宿は人間関係が一気に広がって、楽しい体験になりました。 B) 質量分析装置を用いて葉っぱの中の植物ホルモンを分析しています。

理論だけではなく、くっつけて社会で役立つかが大切。



大学院 理工学研究科 博士後期課程
2008年卒業生

水谷 晃三 先生
情報電子工学科 講師

A) 今となっては当たり前となったwebの技術をベースにしたシステムを開発する演習。 B) 理系・文系・医系の3学部が同じキャンパスにあるのは大きな利点。社会で活かしていける貴重な意見を幅広く聞くことができます!

車が欲しくて貯めたお金は、旅行代に変わってしまいました!



理工学部 情報科学科 ※
1995年卒業生

渡部 里美
ラーニングテクノロジー開発室

A) 合格率5%の必修科目をなんと1年目に取得! 友人が再履修している時間は食堂の場所取りをしていました。 B) 宇都宮キャンパス内のサーバの管理業務やヘルプデスク、先生方の教材作成補助を行っています。

アルバイトは飲食店で3年間働きました。



経済学部 経済学科
2018年卒業生

鎌坂 智則
総務グループ 会計チーム

A) 学びと遊びのバランスを大事にしています。時間があるときはドライブしたり、BBQや山登りしたり。 B) まだ1年目ですが、宇都宮キャンパスは学生、教員、職員の距離感が近くて雰囲気がとても良い印象です。

※現: 情報電子工学科

教員の資格取得の勉強は、人生観が変わったターニングポイントです。



医療技術学部 スポーツ医療学科
2013年卒業生

佐々木 政親
学生支援グループ 教務チーム

A) 教員になるための勉強に励みました。サークルや部活動を通して、友人との交流が絶えない学生生活でした。 B) 学生が窓口に来やすい、話しやすい職員を目指しています。気軽に挨拶しあえる関係になりたいです。

青春18きっぷで、海や温泉に遊びに行きました。



理工学部 バイオサイエンス学科
1993年卒業生

箱島 紀子
バイオサイエンス学科 技術職員

A) とにかく実験が好きでした。卒研ではDNA配列を決定しようと研究室一丸となって楽しく実験していました。 B) 2・3年生の実験補助や4年生の実験指導を行っています。研究室から見える山の雪景色には癒やされます。

スポーツ施設、実験・実習設備が充実しています!



法学部 法律学科
1997年卒業生

砂賀 康史
学生支援グループ 学生サポートチーム

A) 卒業旅行に3泊4日で沖縄へ行きました。2日目に熱中症で倒れてしまったのも懐かしい笑い話です。 B) クラブ活動、学友会活動の支援を行っています。学生たちの成長を感じ、日々刺激を受けています。

遊びに活かせるアルバイトをしていました。



理工学部 機械・精密システム工学科
1993年卒業生

牧田 匡史 先生
機械・精密システム工学科 講師

A) 時間があれば友人たちと車やバイクで遊んでいました。1期生なので先輩がいなく、遊び方も「自分流」! B) 企業で働いていた経験を活かし、社会で役立つ実学を教えています。四季を感じられるキャンパスは素敵です。

洋弓部とは、アーチェリー部のこと。まさに体育会系でした!



文学部 教育学科
1989年卒業生

飯山 由起子
総務グループ 会計チーム

A) 教員免許の取得と、洋弓部の活動で忙しい学生生活でした。他大学の試合がある前日には、友人宅に泊まったことも思い出に残っています。 B) 周りのサポートもあり宇都宮キャンパス開学から現在まで勤めています。

勉強も遊びもメリハリが大切!



医療技術学部 柔道整復学科
2013年卒業生

熊倉 悟
帝京豊郷台接骨院

A) 資格取得に向け、友人の家に集まって勉強をしていました。ついおしゃべりに夢中になることも。資格が無いと就職や大学院に進めないで、みんな真剣でした。 B) キャンパス敷地内の接骨院で治療をしています。

患者さんとの世間話もできるようになりました。



医療技術学部 柔道整復学科
2018年卒業生

山崎 千穂
帝京豊郷台接骨院

A) 素敵な仲間に出会って、自分が積極的になれました。一緒に勉強したから国家試験対策も乗り越えられました。今でも連絡を取り合う大切な仲間です。 B) 図書館の3階から宇都宮市街地が一望できます。ぜひ!

やっぱりラーメンは外せない!



理工学部 ヒューマン情報システム学科 ※
2012年卒業生

嶋田 大智
学生支援グループ 学生サポートチーム

A) 放課後になると友人たちと美味しいものを求め、様々な場所へドライブしながら出かけていました。 B) 学生に近い立場で、いろいろな相談や指導を行っています。また年間通して各種イベントの運営にも関わります。

※現: 情報電子工学科

数字で見よう! 宇都宮キャンパス

1 □ 2 □ 3 ワンツースリー

宇都宮キャンパスが開校したのは

1989年



30年でこんなに変わりました!

1966年(昭和41年)に帝京大学が東京都八王子市にて創立。1989年(平成元年)4月、栃木県宇都宮市に帝京大学宇都宮キャンパスが誕生し、理工学部としてスタートしました。宇都宮市に新しい工業団地が誕生し、国内の有力企業が進出。「実学教育」を目指す本学が、宇都宮市に誘致されました。

幅広く学べる
総合キャンパス

3 学部 6 学科

宇都宮キャンパス誕生当時からあった理工学部の4学科に加え、2008年に医療技術学部柔道整復学科、2016年に経済学部地域経済学科が開設。それぞれ大学院もあり、理工・医療・経済が揃った総合キャンパスとして機能しています。

- 【理工学部】
 - 機械・精密システム工学科
 - 航空宇宙工学科
 - 情報電子工学科
 - バイオサイエンス学科
- 【経済学部】
 - 地域経済学科
- 【医療技術学部】
 - 柔道整復学科

2018年5月現在、図書館の蔵書は

119,157 冊

宇都宮キャンパス図書館が30年かけて積み上げてきた蔵書には、現在手に入りにくい貴重な文献も! 最新テーマの本とともに、学問の礎となる本も一緒に書架に並んでいます。

宇都宮キャンパスの敷地面積は、なんと

東京ドーム 6 個分

宇都宮キャンパスは、33万平方メートル、東京ドーム6個分の緑豊かな広大な敷地に各学科棟の教育研究施設が機能的に配置されています。模型飛行機用の飛行場、格納庫、実習工場、オートモビル・テクノロジー・センター、温室や特定網室などの研究設備、柔道整復師養成のために必要な帝京豊郷台接骨院、学生同士の国際的感覚が身につく国際学生寮などの施設を揃えています。

宇都宮キャンパスの卒業生は30年間で

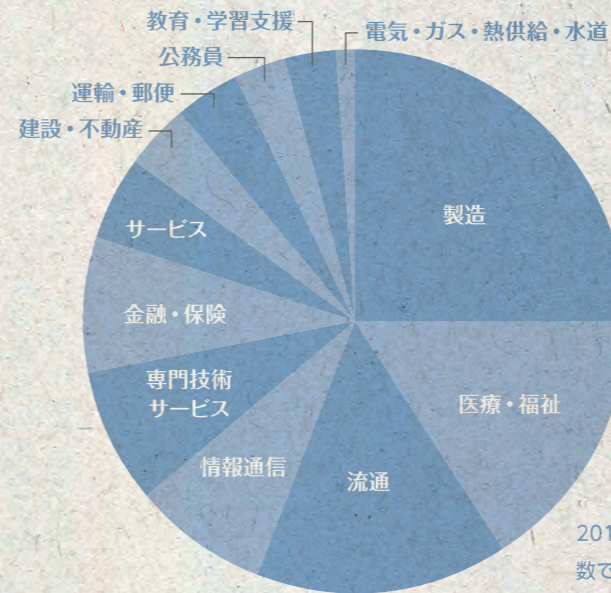
約 14,000 人

1989年の宇都宮キャンパス誕生以来、輩出した卒業生の数は、約14,000人! 様々な地域の様々な分野で活躍しています。

宇都宮キャンパス生・卒業生の出身地は

47 都道府県

帝京大学宇都宮キャンパスの卒業生および現在の学生たちは、地元栃木県や埼玉・茨城などの出身者の割合が高めですが、北は北海道、南は沖縄まで日本全国から集まっています。



過去3年間で卒業生が就職し活躍している企業の数は

約 700 社

2015~2017年度の帝京大学宇都宮キャンパスの卒業生たち(3年間で約1,100名)が働く企業の数です。一般企業への就職だけでなく、大学院へ進学し、研究者としての道を歩んでいる卒業生も多くいます。 ※ちなみに、1年間に宇都宮キャンパスに届く求人情件数は約13,000件もあります!

まだまだいます！ 宇都宮キャンパスを 卒業したOB&OGパスを た〜くさんの先輩たちが 社会に出て大活躍中！ 学生時代のことや今のこと、 いろいろと聞いてみました！



理工学部 ヒューマン情報システム学科 ※ 2016年卒業
大柿 尚暉さん ※現：情報電子工学科
(電気工事会社 勤務)

電気工事を行う会社で、施工管理の仕事をしています。お客様からの要望を受けて、工事の内容や必要な材料などを考える仕事で、学生時代に卒業研究を通して身につけた「段取り力」が役立っています。コンピュータで制御する義肢について研究していたのですが、自分たちでテーマを考え、実験方法を決めていくプロセスがとても面白かったですね。



理工学部 機械・精密システム工学科 2015年卒業
小堀 貴弘さん (株式会社小野測器 勤務)

ATCという、自動車に特化したコースに所属していました。自動車メーカー出身の先生方が多く、車の構造を詳しく学んだり、実際の車を分解してみたりと、まさに車漬けの毎日でした。現在は計測機器メーカーで、自動車の性能を解析するための計測機器づくりに携わっています。学生時代に学んだことがすべて、現在の仕事に活かされています。



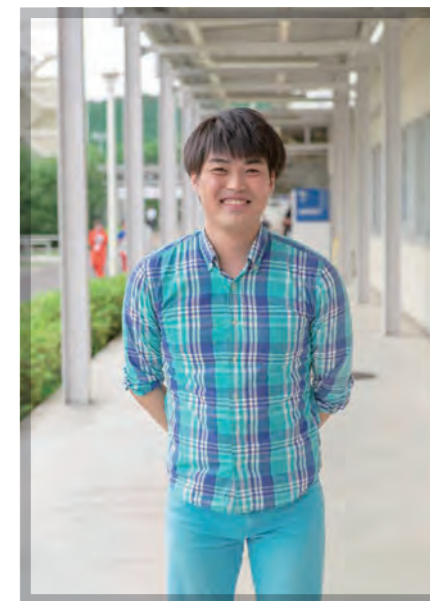
経済学部 地域経済学科 2017年卒業
小田桐 侍優さん (株式会社小泉東関東 勤務)

世界や日本全体の経済にも興味があったけど、ローカルな経済に魅力を感じ、この学科を選びました。ゼミではふるさと納税について考察し、宇都宮市のまちづくり研究会で発表しました。賞をいただけたので、嬉しかったです！実は人前で話すことが苦手だったのですが、この経験を機に克服できました。現在の営業の仕事にも活かしていると思います。



理工学部 ヒューマン情報システム学科 ※ 2015年卒業
畑山 梢さん ※現：情報電子工学科
(埼玉県内病院務 勤務)

「医療関係の仕事に就きたい」「物理が好き」という理由から臨床工学士になりたいと思い、この学科に進学を決めました。医療系の勉強だけではなく、電気回路やシステムなどの知識も学べたのは、現在の私の強みになっていると思います。学生時代は課外講座で苦手な英会話にも力を入れました。語学留学にも行き、自分の自信につながりました！



医療技術学研究科 柔道整復学専攻 2015年修了
治面地 学さん (国立大学法人山形大学 勤務)

柔道整復師を目指して進学したものの、早々に苦手科目につまずいてしまって…。キャンパス内にある「学習支援室」という施設で個別指導を受け、見事苦手克服することができました！その後卒業研究を通して、新しいことを発見できる研究のおもしろさにハマリ、現在は山形大学では大学院生をしながら、解剖学の教員もしています。



経済学部 地域経済学科 2017年卒業
石川 理那さん (株式会社筑波銀行 勤務)

自分の地元が大好きで、地域活性化やまちづくりに興味があったからこの学科を選びました。学生時代思い出に残っていることは、ゼミ活動。那珂川町という地域のPRビデオを作るために、現地に足しげく通いました。宇都宮キャンパスは少人数制の授業が多く、先生との距離が近いことがとても良かったですね。就職支援のための制度も充実していました。



理工学部 航空宇宙工学科 2016年卒業
安部 成俊さん (株式会社ホンダテクノフォート 勤務)

航空機のエンジンに興味があって、この学科を選びました。実際に勉強してみたら、エンジン自体の魅力に取り憑かれ、より身近なエンジンを扱ってみたいと考えるようになり、今の仕事(自動車エンジンの解析)を選びました。畑畑いようですが、航空宇宙工学を学んで自動車のエンジニアになったことで、他の人とは違う視点を持っていると思います。



理工学部 バイオサイエンス学科 2015年卒業
茂木 悠さん (栃木県佐野市役所 勤務)

佐野市役所の農政課で働いています。佐野市内の農家の皆様のご相談を受けたり、補助金の申請手続きなどを行っています。作物が病気にかかってしまった時は原因についてご説明することもあり、大学で学んだことが活かしています。就活時は、大学のサポートをフル活用。学科の先生はもちろん、他学科の先生も親身に相談に乗ってくれました。



理工学部 ヒューマン情報システム学科 ※ 2015年卒業
橋本 直美さん ※現：情報電子工学科
(日本信号株式会社 勤務)

現在、改札機や券売機などの駅務機器の設計職に就いています。もともと鉄道関係の会社で働きたいと思っていたこと、大学で学んだプログラミングなどの技術が活かせるということで、私にピッタリの仕事です。学生時代は、とにかくいろいろなことにチャレンジしました。勉強、サークル、教員免許取得と大忙しでしたが、とても充実していました。



理工学部 バイオサイエンス学科 2008年卒業
小西 基弘さん (全業工業株式会社 勤務)

製薬会社で薬の製造や生産管理に携わり、現在は主任として社員教育も担当しています。学生時代に経験した、実験結果から分析するプロセスや様々な器具の使い方はとても役立っています。バイオサイエンス学科は植物や微生物、遺伝子など幅広く学べるので、学生たちの得意分野もそれぞれ違って、わからないことはすぐに聞いて助かりました。



理工学部 機械・精密システム工学科 2011年卒業
大類 彰浩さん (一般機械・産業機械メーカー 勤務)

食品製造機械を作る会社で、まんじゅうを作るために生地であんこを包む機械や、クロワッサンの製パン機などの開発設計を担当しています。実は、大学2年生の時に授業の一環として行った企業見学で出会い、興味を持ったんです。学生時代は、卒業研究を頑張りました！研究室の立ち上げから、企業とのやりとりなど、いろいろなことを経験できました。

大学時代、一番の思い出は?



すべて 画像 インタビュー 友人 うってい 学園祭 オープンキャンパス 実習 自分流 設定

- 帝京大学
- 宇都宮キャンパス
- 思い出
- 研究
- サークル
- 就職活動
- アルバイト



理工学部 バイオサイエンス学科 2017年卒
加藤沙弥香さん(丸三証券勤務)
松本琴弥さん(ふじや食品勤務)
#うっていと八王子に行ったこと #カエルの解剖



理工学部 バイオサイエンス学科 2014年卒
青木優磨さん
#学生会で委員長を務めたこと #高校の生徒会以上に自由な発想で



理工学部 航空宇宙工学科
2017年卒 寺田えりさん(IHIEアロスペース・エンジニアリング勤務)
2015年卒 小嶋悠太さん(いすゞ自動車首都圏勤務)
#部活動 #天文部 #防災ボランティアチーム



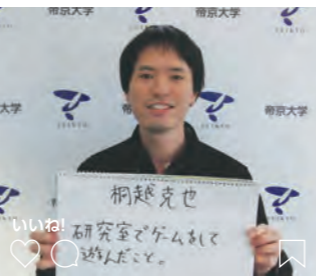
経済学部 地域経済学科 2017年卒
小澤侑実さん(栃木銀行勤務)
#学園祭で豚汁を作って売ったこと #ジムで雑談をしたこと



理工学部 材料科学工学科※1 2002年卒
高橋直幸さん(宇都宮大学大学院 進学)
#部活動(合気道部)が楽しかった



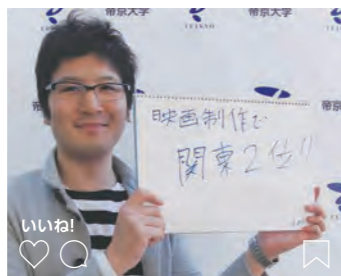
理工学部 情報科学科※2 2004年卒
堀江真沙登さん
#刺激的な人が多くて、おもしろかったです!



理工学部 電気・電子システム工学科※2
2011年卒 桐越克也さん
(東日本旅客鉄道勤務)
#研究室でゲームして遊んだこと



経済学部 地域経済学科 2017年卒
清水佑太さん(栃木銀行勤務) 菊池信吾さん(鳥山信用金庫勤務)
#部活やボランティアで様々な人と関わりを持つことで、自分の考え方を広げることができたこと



理工学部 航空宇宙工学科 2016年卒
小川達也さん(筑波大学大学院進学)
#映画制作で関東2位!!



理工学部 情報科学科※1 2011年卒
新井里実さん(システムフロンティア勤務)
須田憲人さん(フュージョン勤務)
#卒業研究発表後の打ち上げで行ったカレーパーティー



理工学部 バイオサイエンス学科 2016年卒
齋藤真生さん(サンフレックス永谷園勤務)
#人力飛行機を飛ばしたこと



理工学部 バイオサイエンス学科 1996年卒
荘司善仁さん(ホンダテクノフォート勤務)
中村大さん(三央勤務)
#意味もなく仲間と集まってダラダラ過ごしていた日々



理工学部 バイオサイエンス学科
佐々木康雄さん
(新興度量衡製作所勤務)
#軽音学部と陸上競技部での活動



経済学部 地域経済学科 2015年卒
朝生詩織さん(帝京大学勤務)
#ここで過ごした4年間は、思い出に残るものばかりでした!

先輩がちゃんとやっているか気になる!? 学園祭実行委員 OB・OGたち



理工学部 機械・精密システム工学科
2015年卒 佐藤遠さん(木原製作所勤務)
佐藤寛也さん(ホンダテクノフォート勤務)
理工学部 バイオサイエンス学科
2015年卒 佐藤佑哉さん(カワチ薬品勤務)
2016年卒 大貫結衣さん(パレクセル・インターナショナル勤務)
理工学部 航空宇宙工学科
2015年卒 米田龍生さん(オートテックジャパン勤務)
経済学部 地域経済学科 2016年卒 采女智彦さん(タマホーム勤務)
医療技術学部 薬学 2015年卒 三品慶太さん(接骨院勤務)
高田さん・片岡さん
#学園祭の実行委員の活動

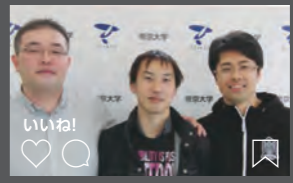


理工学部 バイオサイエンス学科
2009年卒 茂澤隆さん(アステム勤務)
大場奈々さん(中学校の理科教師)
2010年卒 若山大輝さん(大起産業勤務)
理工学部 電気・電子システム工学科※2
2009年卒 大貫洋二さん(日新情報システム開発勤務)
理工学部 情報科学科※2
2009年卒 佐藤央さん(花巻市教育委員会勤務)
#学祭

理工学部 バイオサイエンス学科
2009年卒 茂澤隆さん(アステム勤務)
大場奈々さん(中学校の理科教師)
2010年卒 若山大輝さん(大起産業勤務)
理工学部 電気・電子システム工学科※2
2009年卒 大貫洋二さん(日新情報システム開発勤務)
理工学部 情報科学科※2
2009年卒 佐藤央さん(花巻市教育委員会勤務)
#学祭



理工学部 電気・電子システム工学科※2
1993年卒 安部俊作さん(沖電気勤務)
1994年卒 阿久津聖さん
1997年卒 根本幸典さん
(ケーシーエスエンジニアリング勤務)
鮎本先生
#寒い中での学園祭の準備



理工学部 バイオサイエンス学科
2004年卒 岡田貴博さん
(老人保健施設勤務)
理工学部 情報科学科 2006年卒
田村祐輔さん(ヒップ勤務)
#学園祭実行委員として学園祭の準備を行ったこと



理工学部 バイオサイエンス学科
2016年卒
伴瀬真麻さん
(塩谷町役場勤務)
#学園祭実行委員会の活動を通して、卒業後もずっと仲良しの友達ができました!



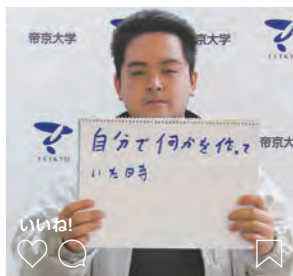
理工学部 ヒューマン情報システム学科※2
2017年卒 小池捷太さん(アルプス技研勤務)
#友人と趣味や学業について語り合ったこと
難しい課題を乗り越えられたこと



理工学部 機械・精密システム工学科
1998年卒 宮崎安史さん
(宇都宮機器勤務)
#合気道部演武 日本武道館での演武大会



理工学部 バイオサイエンス学科 2009年卒
五味湖由貴さん(帝京大学勤務) Yさん
#弓道場でのおしゃべり #練習とくーたらメリハリも楽しかった



理工学部 ヒューマン情報システム学科※2
2012年卒 名井康晴さん
(アーネスト・エクスパートサービス勤務)
#自分で何かを作っていた時